

## 第 104 回 FM 桐生番組審議会 議事録

1. 開催年月日 2024 年 1 月 16 日 火曜日
2. 開催場所 FM 桐生 3 階会議室（桐生市本町 5 丁目 365-1）
3. 委員総数 8 名  
出席委員数 7 名  
出席委員の氏名 板橋英之、岡野紀子、大澤善康、飯野マリエ、小泉充、中村昌也、星野麻実  
欠席委員の氏名 豊田れい子  
放送事業者側出席者名 坂田道信、天路ひとみ

### 4. 議題（1）聴取番組について委員からの意見と提案

### 5. 議事の概要

開会

挨拶

1. 資料配布物の確認  
次第・次回聴取番組 CD 『JOB SELECT』  
(1 月 2 日（火）放送分))

### 報告事項

- ・パーソナリティより新型コロナウイルスやインフルエンザの報告もあり。
- ・年末年始休暇も含め、代役などで放送は対応。
- ・新型コロナウイルス対策について（マスク着用やスタジオ人数制限は解除したが、引き続き警戒中。）
- ・3 月にて終了の番組も有り。（学生が就職活動に入る為。）
- ・地震について 安否確認を各番組の代表にメールで送付済。今のところ被害報告はなし。

次回開催日程 2024 年 3 月 19 日（火） 19：00～

### 6. 審議内容

- ・放送日時：2023 年 10 月 16 日（月） 21：00～21：59
- ・番組名：「夜のお供ラジオ」
- ・出演者：そうえい
- ・番組の内容：音声配信プラットフォーム Spoon でパーソナリティを務める群馬県在住の現役学生  
” そうえい” が、FM 桐生でもでもラジオをスタート。  
夜のひととときに、眠りにつく前に。  
ゆったりまったりと一緒に過ごしいただける癒し系の 1 時間番組です。

(1) 聴取番組について、委員からの意見

【委員】

- ・リスナーに語りかけるような口調で話に引き込まれた。
- ・とてもフレンドリーな感じがした。
- ・つい、ラジオに向かって話しかけたいくなるような番組だった。
- ・冒頭のBGMが雑音なのかな？というような音源だったのが少し気になった。
- ・ご本人も言っていたように、オープニングのトークで「やっぱり」が多いのが気になった。
- ・前半のトークは何度か聞いたが、内容が少し分かりにくい印象だった。
- ・BGMが長く感じたが、番組コンセプト通り、会話のスピードやトーンが優しく仕事の合間、通勤時、就寝前にリラックスして聞くにはちょうど良いと感じた。
- ・選曲センスが良いと感じた。
- ・テンポがよく、語り口調が夜の番組にぴったりで穏やかに聞くことができる。
- ・話の内容は恋愛など、若い方向けだったがそれが新鮮に感じた。
- ・最後が音楽で終わるのが心地よかった。
- ・パーソナリティの人柄が良いのが聞いていて伝わってきた。
- ・1人で1時間話をするのは難しいと思うが、話し方が上手でとても聞きやすかった。
- ・また聞いてみようと思える番組だった。
- ・若い方の話なので聞いていて話題には乗り切れなかったけれど、そうなのか〜と、就寝前のひとときに聞きやすかった。
- ・BGMが眠りを誘う感じ。
- ・「寝た人を起こさないように」と話していたが「なるほど」と思える番組。
- ・「あの〜」が多かったように感じた。
- ・リスナーとのやり取りが良かった。
- ・夜の番組っぽい穏やかな声が心地良かった。
- ・番組の構成はラジオの王道的な内容だという印象。

- ・若者による若者向けの話題で対象が明確。
- ・飲み物の原液がカルピスくらいじゃないかという話題には世代間ギャップを感じた。
- ・BGMにもう少し変化があっても良い気がした。

#### 【回答】

- ・ラジオを聞いてもらいながら、寝てしまっても良いような番組作りをしている。
- ・1対1のような関わり方、話し方が、新しい世代の番組と感じる。

#### 【その他】

- ・先日桐生市内で一部停電があったが、停電の時こそラジオで情報が流れたらよいのではと思った。  
桐生市内でも知らない人もいて情報が欲しかった。  
停電しているエリアも分からなかった。  
→FM 桐生も、停電の影響を受け対応中だった。  
正確な情報がなかったため、放送はできなかったが SNS を利用して、分かる範囲での情報は発信していた。  
放送ができるよう発電機を備えてあるので通常通り放送。  
桐生市からの要請がないと災害情報としては発信できない。  
災害停電の場合は割り込み放送になるが、今回は災害でおこった停電ではなかったため通常放送を割り込んでの放送はできなかった。  
今後の課題としてしっかりと受け止め、正しい情報をラジオから放送したい。  
日頃、訓練はしているが停電対策について改めて見直しもしたい。  
桐生市・東京電力からの情報をもらえるように体制を整えていきたい。
- ・地震の時に防災ラジオが大音量で鳴ったのを初めて聞いた。(Jアラート)  
音が大きいので危機感を感じられて良かった。あの音は自動で大音量なのか。  
→災害時は自動的に大音量で鳴動する。  
市内が震度4以上ではなかったため、市からの要請はなく防災体制は取らなかった。

#### 7. 審議機関の答申又は意見の概要の公表

公表の方法 自社番組内での紹介、事務所への備置き、自社ホームページ <http://www.fmkiryu.jp/>へ掲載

公表の内容 この書類と同様

公表年月日 送付日と同日

#### 8. その他参考事項 特になし